報道発表資料の配付日時 7月13日(金)10時00分

発表項目 (行事名)	札幌医科大学助産学専攻科開設記念シンポジウム 〜北海道のお産を守る助産師の役割と養成〜
	開催のお知らせ 本年4月の本学助産学専攻科の開設を記念して、次のとおりシンポジウムを
	開催しますので、お知らせします。
	1 開催日時:平成24年9月4日(火)16:00~18:00 2 開催場所:札幌医科大学記念ホール2階講堂(札幌市中央区南1条西18丁目) 3 参加対象者:助産学生、看護学生、助産学教育関係者 など ※(注)助産関係者であれば、学外の方も参加できます。
概要	4 プログラム: (1) 開会挨拶 (16:00~16:10) (2) 助産学専攻科紹介(16:10~16:30) (3) シンポジウム (16:30~18:00) ●座 長:丸山知子氏(天使大学学長・札幌医科大学名誉教授) 大日向輝美 (札幌医科大学助産学専攻科教授) ●テーマ:北海道のお産を守る助産師の役割と養成 ●シンポジスト ・佐野敬夫氏(医療法人社団朋佑会札幌産婦人科院長) 講演テーマ:「お産にかかる医師・助産師の役割と連携」 ・中島由香里氏(岩見沢市立総合病院産婦人科病棟看護師長) 講演テーマ:「自治体病院の助産師が守る地域のお産」 ・立花理彦氏(北海道オホーツク総合振興局保健環境部長) 講演テーマ:「北海道の周産期医療における助産師の役割 「一行政の立場から」 5 その他 助産学専攻科の概要については、別紙を参照してください。
報道(取材) に当たって のお願い	本シンポジウムのイベント欄へのご掲載と当日のご取材につきまして、何と ぞ宜しくお願いいたします。
担 当 (連絡先)	札幌医科大学事務局学務事務部学務課 主查(助産学専攻科) TEL 011-611-2111(内 2378)



日時:平成24年9月4日火

午後4時 開演

会場:札幌医科大学記念ホール 2階

札幌市中央区南 1 条西 18 丁目

開設記念シンポジウム

北海道のお産を守る 助産師の役割と養成



札幌医科大学助産学専攻科

Sapporo Medical University Graduate Course in Midwifery

座長 丸山 知子 氏 天使大学学長•札幌医科大学名誉教授 大日向 輝美 札幌医科大学助産学専攻科教授

●講演テーマ/シンポジスト

講演 I 「お産にかかわる医師・助産師の役割と連携」

医療法人社団朋佑会札幌産科婦人科院長 佐野 敬夫 氏

講演Ⅱ「自治体病院の助産師が守る地域のお産」

岩見沢市立総合病院産婦人科病棟看護師長 中島 由香里 氏

講演 III 「北海道の周産期医療における助産師の役割-行政の立場から」

北海道オホーツク総合振興局保健環境部長 立花 理彦 氏

参加対象 助産学生、看護学生、助産学教育関係者など

■ 参加定員 150名程度

参加申込方法

参加を希望される方は、8月17日(金)までに下記宛に電話又は e-mail でお申し込み下さい。なお、メールの場合は、件名を「シンポジウム参加希望」として送信して下さい。

お問合わせ/お申し込み 札幌医科大学事務局学務課助産学専攻科(木下・山本) 〒060-0062 札幌市中央区南2条西15丁目 (北海道立衛生学院内) Tel: 011-611-2111 (内線2378) / Fax: 011-688-9861 e-mail: jyosan@sapmed.ac.jp HP: http://web/sapmed.ac.jp/

動札幌医科大学 助産学専攻科

Sapporo Medical University Graduate Course in Midwifery

> 安全・安心に子どもを産み育てられる 社会の実現をめざして

いのちを守り、いのちを育むひとになる

札幌医科大学助産学専攻科は、高度な知識と優れた技術を備えた創造性に富む人間性豊かな助産師を育成し、 北海道の母子保健・周産期医療の充実と発展に貢献します

数育理念

助産師は、女性の生涯の健康を支える専門職です。 とりわけ妊娠・出産・産褥の過程において妊産褥婦や新生児、その家族に対して機続的に支援する役割を担っています。女性と子と、家族、地域社会を対象に、人々のニーズや自己決定を尊重し、質の高い助産ケアを通して、子どもを産み育てる人間社会の安定と発展に貢献します。

才、海・道は、母子保健・周産期医療に関わる多くの課題を抱えています。また、出生率の低下や育児環境の問題など、女性と子どもを取り巻く社会状況も大きく変化しています。今、社会からは、専門的な知識と技術に支えられ、自立して助産ケアの行える助産師が求められていますが、まだまだ不足している状況です。

本人 幌 医科 大学では、医師及び他の保健医療関係者との共同のもとに、助産師として主体的に専門性を発揮するとともに、将来、後進の育成に取り組み、北海道の助産領域を牽引する役割を担う専門職の養成に努めます。

本事攻科は、教員も学生も共に学び合う姿勢を持って、皆さん方の持てる力を最大に引き出し、1年後には助産部として社会にエントリーできる実践力を養うことをお約でします。



教育の特徴

助産学・産婦人科学を専門とする専任教員を中心に、札幌医科大学に所属する関連分野の教員、道内の母子保健・周産期医療で活躍する講師陣が授業を担当します。また、個別指導を重視し、きめ細やかな指導を行うことで一人ひとりの実践力を確実に養います。

助産学実習は、札幌市内及び道内の基幹病院や助産施設で行います。専任教員と実習指導者との連携を密にとり、効果的な実習が行える環境を準備します。様々な場での数果的な実習が行える環境を準備します。様々な場での共習を通して、地域医療における助産師の役割も学びま



アドニッションポコット

本専攻科は、こんな人を歓迎します。

- 1 人間の尊厳と生命の尊重を基盤に、生と死に真摯に 向き合い、寄り添うことのできる人
- 2 社会を構成する全ての人々に敬意をはらい、人と人 との相互関係を大切にできる人
- 3 看護学に関する知識・技術の基礎・基本を高いレベルで備え、助産学を主体的に学び追求する姿勢を有している人
- 4 北海道の母子保健に深い興味や関心を持ち、自らの助産実践を通して諸課題を解決したいと考えている人 異なる文化や価値観を尊重し、広い視野で物事を見つめ、社会に貢献しつつ自分も成長しようと願う人

取得できる資格 ・助産師(国家試験受験資格) ・受胎調節実地指導員

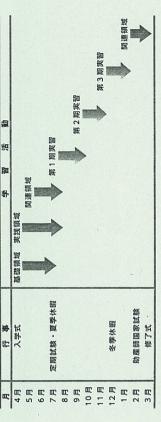
数阿課精

助産学の基礎領域で学んだ基礎的な知識をもとに、実践領域では助産実践に直接かかわる技術と実践そのものを学びます。学内における知識・技術の学習、諸施設での実習を通して、助産師に求められる実践力を段階的、系統的に養います。

	領域域	松	授業科目	単位
周直 助産学の目的・対象、助産実践の基盤となる周座期医学や薬 周産 学・栄養学、その他関連分野の知識に加え、専門職としての責 周連 務と倫理を学びます。 特別 学内では演習時間を多く設け、妊娠期・分娩期・産褥期の女 別産 性、新生児に対するアセスメント、即産ケアの基本、助産業務 助産 の管理について学びます。実習では、周産期医療・母子保健 助産 加減のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す的 限 直師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 可募 対域のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す的 健康 直師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 地域 する渦霧を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 加速			助産学概論	2
即産学の目的・対象、即産実践の基盤となる周座期医学や薬 周産学・栄養学、その他関連分野の知識に加え、専門職としての責 周座 務と倫理を学びます。 特別のでは演習時間を多く設け、妊娠期・分娩期・産褥期の 即産性、新生児に対するアセスメント、即産ケアの基本、助産業務 即産の管理について学びます。実習では、周産期医療・母子保健の 即産 間に出向き、自らの即産活動を通して実践能力を高めます。 即産 地域のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 健康 直師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに即産実践に対 1地域 する渦霧を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助す			周産期医学I	-
サ・栄養学、その他関連分野の知識に加え、専門職としての責 周華 第と倫理を学びます。 特と倫理を学びます。 「中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		即産党の目的・対象。即産実践の基盤となる周確期医学や澎	周産期医学工	-
諸と倫理を学びます。 特と倫理を学びます。 特と倫理を学びます。 特と信理を学びます。 特とのでは演習時間を多く設け、妊娠期・分娩期・産褥期の対 即産性、新生児に対するアセスメント、即産ケアの基本、助産業務、即産場に出向き、自らの即産活動を通して実践能力を高めます。 前庭の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに即産実践に対す。 前庭の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに即産実践に対す。 前庭 財政のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 健康 前域のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 健康 可減のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 健康 可減のりプロが登割を学ぶと共に、最新の知見のもとに即産実践に対 地域 する渦察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助産 可能の表表を表現の		地・栄養学、その他関連分野の知識に加え、専門職としての責	周産期の薬理学	-
母子 学内では演習時間を多く設け、妊娠期・分娩期・産褥期の女 即産 性、新生児に対するアセスメント、助産ケアの基本、助産業務 助産 の管理について学びます。実習では、周産期医療・母子保健 協に出向き、自らの即産活動を通して実践能力を高めます。 即産 加減のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 可る洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。	基礎領域	務と倫理を学びます。	胎児·新生児学	-
			母子の栄養学	-
零族 学内では演習時間を多く設け、妊娠期・分娩期・産褥期の女 間			乳幼児の成長発達	-
即産 学内では演習時間を多く設け、妊娠期・分娩期・産褥期の女 周連 が推生場に対するアセスメント、即産ケアの基本、即産業務 助産 の管理について学びます。実習では、周産期医療・母子保健の 場に出向き、自らの即産活動を通して実践能力を高めます。 即産 地域のリブロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。			家族の心理社会学	-
助産学内では演習時間を多く設け、妊娠期・分娩期・産褥期の女 周連性、新生児に対するアセスメント、助産ケアの基本、助産業務 助産の管理について学びます。実習では、周産期医療・母子保健の 助産場に出向き、自らの助産活動を通して実践能力を高めます。 助産地域のリブロダクティブベルス、母子保健の向上を目指す助 助産地域のリブロダクティブベルス、母子保健の向上を目指す助 健康産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 地域する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助産する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。			助産診断とケアI	-
助産学内では演習時間を多く設け、妊娠期・分娩期・産褥期の女 周連性、新生児に対するアセスメント、即産ケアの基本、助産業務 助産の管理について学びます。実習では、周産期医療・母子保健の 助産場に出向き、自らの助産活動を通して実践能力を高めます。 助産地域のリブロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 健康産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 地域する渦察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助産			助産診断とケアエ	ო
学内では演習時間を多く設け、妊娠期・分娩期・産褥期の女 周産性、新生児に対するアセスメント、助産ケアの基本、助産業務 助産の管理について学びます。実習では、周産期医療・母子保健の 助産場に出向き、自らの助産活動を通して実践能力を高めます。 助産地域のリブロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 健康産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 地域する渦繋を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助蔵する渦繋を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。			助産診断とケア皿	0
性、新生児に対するアセスメント、即産ケアの基本、助産業務 助産の管理について学びます。実習では、周産期医療・母子保健の 助産場に出向き、自らの助産活動を通して実践能力を高めます。 助産地域のリブロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 健康産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 地域する渦繋を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助産する渦繋を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。		学内では演習時間を多く設け、妊娠期・分娩期・産褥期の女	周産期ハイリスク	-
の管理について学びます。実習では、周産期医療・母子保健の 助産 場に出向き、自らの助産活動を通して実践能力を高めます。 助産 助産 地域のリブロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 地域 する渦察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助域	実践領域	性、新生児に対するアセスメント、助産ケアの基本、助産業務	助産管理学	-
場に出回さ、自らの即産活動を適して実践能力を高めます。 助産 助産 地域のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 健康 産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに即産実践に対 地域する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助産		の管理について学びます。実習では、周産期医療・母子保健の	助産学実習Ⅰ	00
助産 地域のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 健康 産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 地域 する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助産		場に出回さ、目らの即産活動を通して実践能力を高めます。	助産学実習Ⅱ	7
助産 地域のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 健康 産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 地域 する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助産			助産学実習皿	-
地域のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助 健康 産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 地域 する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助産			助産学実習IV	-
産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対 地域 する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助産		地域のリプロダクティブヘルス、母子保健の向上を目指す助	健康管理論	-
する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。 助産計	関連領域	産師の役割を学ぶと共に、最新の知見のもとに助産実践に対	地域母子保健論	-
कीव्य		する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養います。	助産学課題研究	-
	100		32単位(全乙)	公修)

年間スケジュール

*助産学実習1・II・II・II・II・II・II・第2期・第3期に分けて行います。



入学者選抜の概要

修業年限・募集人員等

修業年限 1年 入学定員 20名

選抜区分 推薦入試・一般入試

入学資格

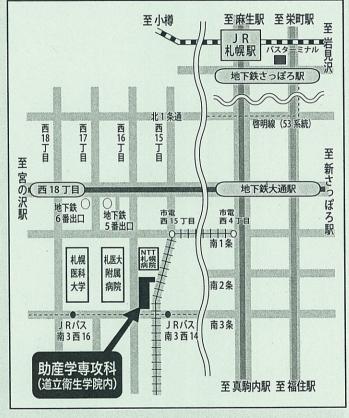
看護師資格を有する又は看護師国家試験に合格した女性 で、次のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を 授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了 した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が 国において履修することにより当該外国の学校教育 における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦ 文部科学大臣が指定した者

入学者選抜方法

入学者の選抜は、専門科目(看護学一般)及び小論文の筆記試験、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行います。

詳細は、学生募集要項をご覧ください。



札幌医科大学助産学専攻科

〒060-0062 札幌市中央区南2条西15丁目(道立衛生学院内)

アクセス 札幌市電「西15丁目」停留所下車徒歩1分 地下鉄東西線「西18丁目」駅下車徒歩7分 JRバス啓明線(53系統)「南3条西14丁目」下車徒歩1分

問い合わせ事務局学務課主査(助産学専攻科)

T E L 011-611-2111 (内線 2378)

F A X 011-688-9861

MAIL jyosan@sapmed.ac.jp

H P http://web.sapmed.ac.jp/